

## 2009年7月は、大型バリューが優勢

### 要約

2009年7月は、2カ月ぶりに大型バリューが最も有効なスタイルとなった。業種別では、精密機器、輸送用機器などをはじめとする製造業のパフォーマンスが良好であった。個別銘柄では、トヨタ自動車(7203)、本田技研工業(7267)などの寄与度が高く、業種全体のパフォーマンス改善にも寄与する傾向が見られた。

2009年8月3日

クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

### ① 大型バリューが優勢

2009年7月のRussell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は、前月比+2.34%の上昇を示した。Russell/Nomura Total Value 指数とRussell/Nomura Total Growth 指数のリターン・スプレッド(円建て)は+0.76%となり、若干ながらバリュー優位の傾向を示した。また、Russell/Nomura Small Cap 指数とRussell/Nomura Large Cap 指数のリターン・スプレッド(円建て)は-1.70%となり、先月から一転して大型優位の傾向を示した。

### ② リビジョン・インデックスは+7.91

個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは+7.91となった。これは、2006年1月以来の高水準であった。

### ③ 精密機器のパフォーマンスが良好

Russell/Nomura Prime 指数における業種別月次リターンでは精密機器、輸送用機器、ゴム製品のパフォーマンスが良好であった。

### ④ 寄与度最上位はトヨタ自動車(7203)

Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄の寄与度ランキングでは、寄与度最上位はトヨタ自動車(7203)であった。次いで、本田技研工業(7267)、キヤノン(7751)の寄与度が高かった。

野村證券

金融工学研究センター

片山 智代

田村 浩道

03-3274-1079

[katayama-1q31@jp.nomura.com](mailto:katayama-1q31@jp.nomura.com)

### スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 -1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.69	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.66	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	小型 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 #####	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 -1.25	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	200812	200901	200902	200903
1	コア 15.19	成長 5.22	小型 #####	割安 -0.21	割安 -3.34	割安 -11.3	小型 -16.4	小型 0.82	成長 3.85	割安 -5.39	割安 -2.11	小型 5.08
2	割安 13.93	小型 3.92	割安 #####	小型 -0.89	市場 -3.54	小型 -11.3	成長 -20.3	市場 -3.66	市場 2.98	小型 -6.53	市場 -4.64	割安 3.93
3	市場 11.93	コア 3.83	コア #####	市場 -1.40	小型 -3.58	市場 -13.0	市場 -20.3	成長 -4.18	小型 2.73	市場 -7.64	コア -4.76	市場 3.23
4	成長 11.56	市場 3.64	市場 #####	コア -1.49	コア -3.82	コア -14.0	コア -20.7	割安 -4.65	コア 2.28	コア -7.98	小型 -5.57	成長 2.02
5	小型 6.62	割安 2.08	成長 #####	成長 -2.77	成長 -3.85	成長 -16.2	割安 -21.4	コア -7.61	割安 2.02	成長 -9.61	成長 -6.41	コア 1.03
順位	200904	200905	200906	200907	投資スタイルと対応指数							
1	割安 12.92	小型 9.18	小型 7.35	割安 3.37	市場	Russell/Nomura Prime						
2	コア 10.28	成長 7.42	市場 3.44	コア 3.33	コア	Russell/Nomura Top Cap						
3	市場 8.31	市場 7.12	成長 3.14	市場 2.39	割安	Russell/Nomura Large Cap Value						
4	小型 5.68	割安 6.02	割安 2.40	成長 2.02	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth						
5	成長 5.08	コア 6.02	コア 0.82	小型 0.95	小型	Russell/Nomura Small Cap						

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村證券金融工学研究センター

野村證券株式会社 金融工学研究センター 〒100-8130 東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己動で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布したてております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 目次

---

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況 ..	1
2. 業種別パフォーマンス・レビュー .....	5
3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー .....	6
Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて .....	7

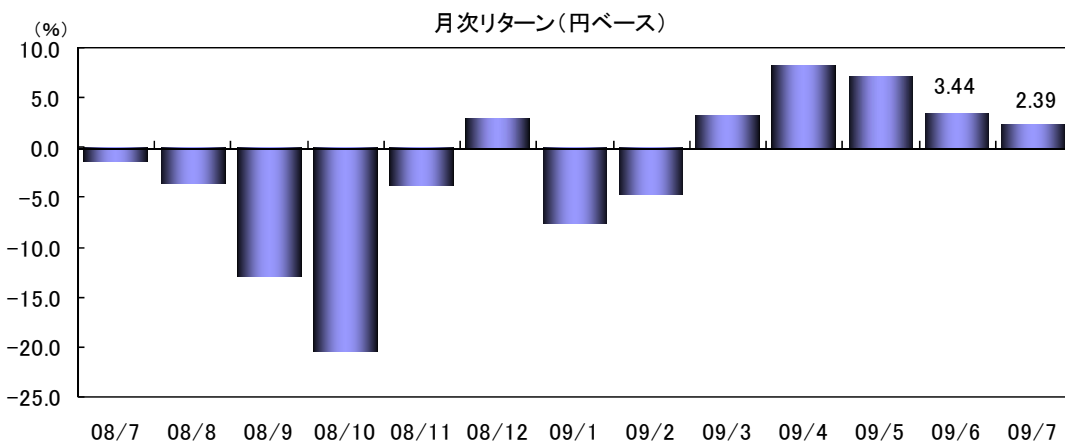
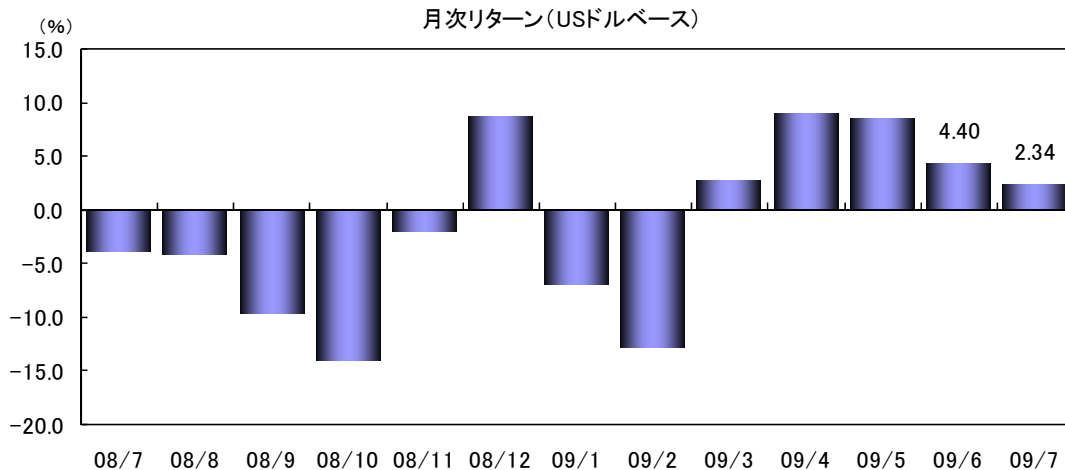
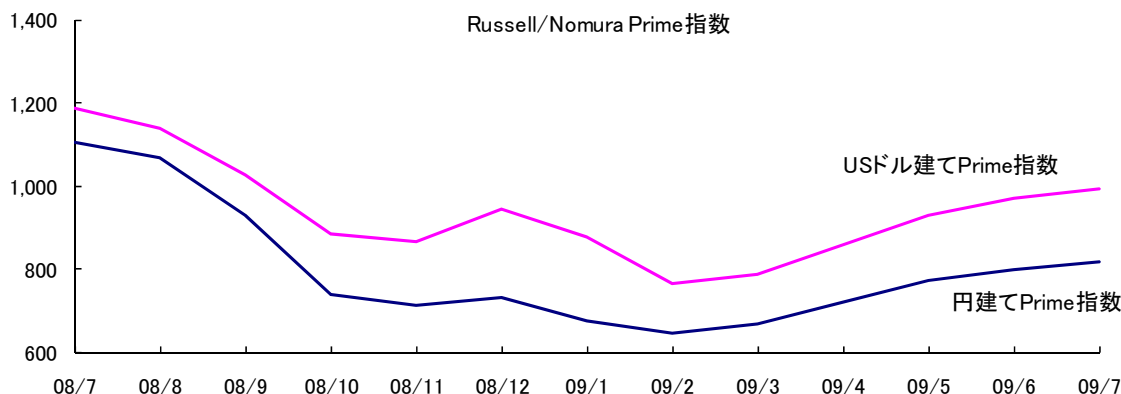
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# 1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

## 09年7月のPrime指数(米ドル建て)は、+2.34%の上昇

2009年7月における、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比+2.34%となった。円建てベースでも、前月比+2.39%の上昇であった。2009年7月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は2009年6月末時点の95.56円から、95.61円となった。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

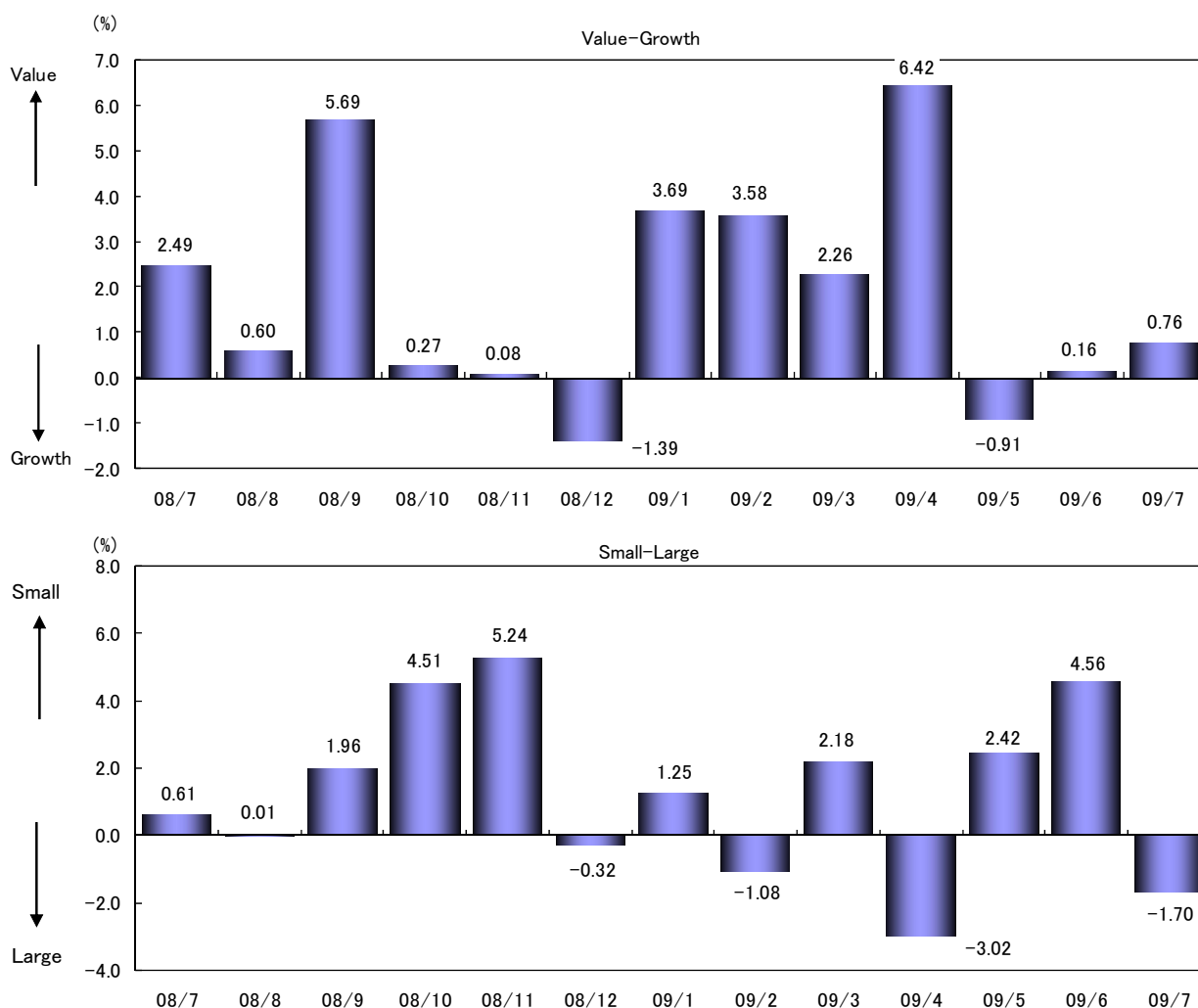
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたします。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 大型バリューが優勢

図表2は、スタイル別のリターン・スプレッド(円建て)の月次推移を示している。また、図表3は、市場、コア(時価総額上位50%以上)、割安(大型・バリュー株)、成長(大型・グロス株)、小型といった5つのスタイル区分による月次リターン(円建て)のランキングを表している。

2009年7月は、2カ月ぶりに割安(大型・バリュー株)が最も良好なスタイルとなった(図表3)。バリュー・グロスの比較で見ると、グロス株は+1.97%であったのに対し、バリュー株は+2.73%であった。これより、バリュー株とグロス株のリターン・スプレッドは、+0.76%となり、弱いながらバリュー優位の傾向を示す結果となった。一方、小型・大型の比較で見ると、小型株が+0.95%であったのに対し、大型株は+2.65%であった。これより、小型株と大型株のリターン・スプレッドは、-1.70%となり、先月とは一転して、大型優位の傾向を示した(図表2)。

図表2 リターン・スプレッドの月次推移



(注) Value-GrowthはValueとGrowthのリターンの差、Small-LargeはSmallとLargeのリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所)野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法のみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 -0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 #####	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	200812	200901	200902	200903
1	コア 15.19	成長 5.22	小型 #####	割安 -0.21	割安 -3.34	割安 -10.3	小型 -16.4	小型 0.82	成長 3.85	割安 -5.39	割安 -2.11	小型 5.08
2	割安 13.93	小型 3.92	割安 #####	小型 -0.89	市場 -3.54	小型 -11.3	成長 -20.3	市場 -3.66	市場 2.98	小型 -6.53	市場 -4.64	割安 3.93
3	市場 11.93	コア 3.83	コア #####	市場 -1.40	小型 -3.58	市場 -13.0	市場 -20.3	成長 -4.18	小型 2.73	市場 -7.64	コア -4.76	市場 3.23
4	成長 11.56	市場 3.64	市場 #####	コア -1.49	コア -3.82	コア -14.0	コア -20.7	割安 -4.65	コア 2.28	コア -7.98	小型 -5.57	成長 2.02
5	小型 6.62	割安 2.08	成長 #####	成長 -2.77	成長 -3.85	成長 -16.2	割安 -21.4	コア -7.61	割安 2.02	成長 -9.61	成長 -6.41	コア 1.03
順位	200904	200905	200906	200907	投資スタイルと対応指数							
1	割安 12.92	小型 9.18	小型 7.35	割安 3.37	市場	Russell/Nomura Prime						
2	コア 10.28	成長 7.42	市場 3.44	コア 3.33	コア	Russell/Nomura Top Cap						
3	市場 8.31	市場 7.12	成長 3.14	市場 2.39	割安	Russell/Nomura Large Cap Value						
4	小型 5.68	割安 6.02	割安 2.40	成長 2.02	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth						
5	成長 5.08	コア 6.02	コア 0.82	小型 0.95	小型	Russell/Nomura Small Cap						

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

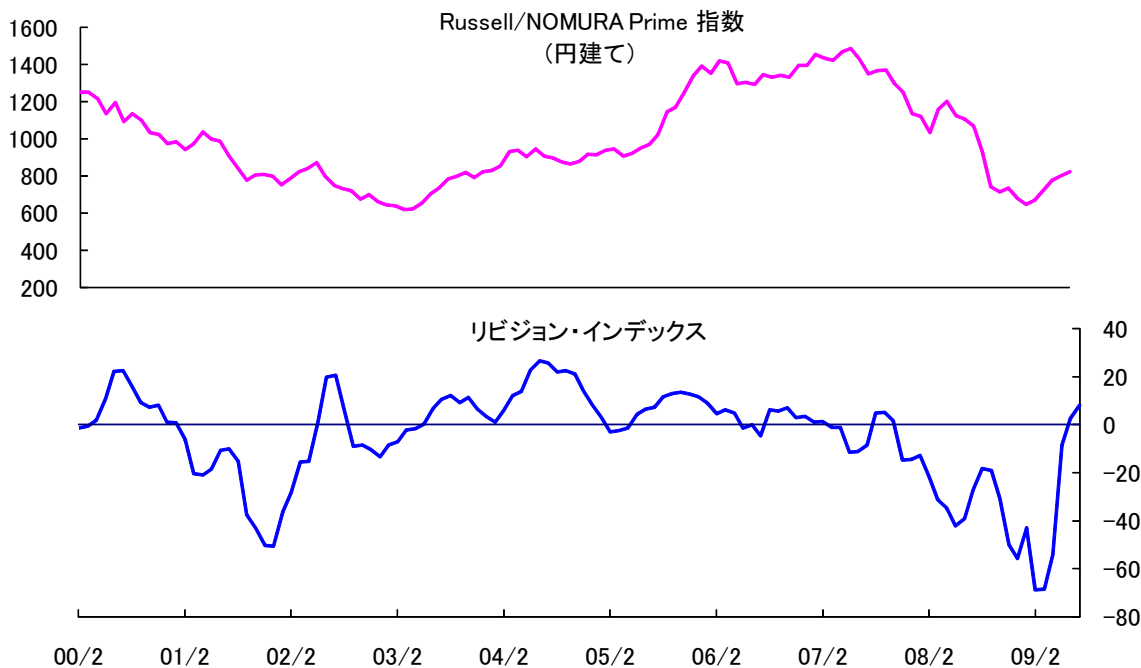
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## リビジョン・インデックスは+7.91 となり、3年半ぶりの高水準

Russell/Nomura Total Market 指数を構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると(図表 4)、2009年7月は先月よりさらに改善し、+7.91 となった。これは、2006年1月以来の高水準であり、サブプライム前の水準まで回復してきたことが分かる。下方修正銘柄数は先月より100社程度減少し、488銘柄となった。一方、上方修正銘柄数は若干減少し、592銘柄となった。

図表 4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2009年07月	7.91	592	488
2009年06月	2.39	621	589

(注) リビジョン・インデックスとは、(上方修正銘柄数－下方修正銘柄数)／有効銘柄数×100 で算出される業績の修正動向を示す指数である。2009年7月の有効銘柄数は1,315銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura Total Market 指数に含まれる全銘柄とし、月末業績予想値と前四半期中に発表された最終業績予想値の比較に基づいて算出している。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 2. 業種別パフォーマンス・レビュー

### パフォーマンス最上位は精密機器

Prime 指数において、2009年7月のパフォーマンスが最も良かった業種は、精密機器であった。同業種の前月比の月次リターンは+12.35%となった。次いで、輸送用機器(+10.18%)、ゴム製品(+7.42%)の月次リターンが高かった。この他、各指数で製造業が上位にランクインする結果となった。一方、パフォーマンスが悪化したのは、空運業で、前月比の月次リターンは-17.79%であった。次いで、石油・石炭製品(-9.00%)、鉱業(-7.08%)などの月次リターンが低かった(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	2.39	Large Value	3.37	Large Growth	2.02	Small	0.95
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 精密機器	12.35	輸送用機器	10.71	精密機器	14.31	輸送用機器	12.12
	2 輸送用機器	10.18	鉄鋼	10.42	電気機器	10.25	ゴム製品	4.51
	3 ゴム製品	7.42	ゴム製品	8.12	ゴム製品	8.51	化学	4.23
	4 電気機器	7.36	食料品	7.75	化学	6.04	その他製品	4.15
	5 化学	4.37	電気機器	5.57	ガラス・土石製品	5.97	繊維製品	3.98
	6 鉄鋼	3.72	ガラス・土石製品	4.90	卸売業	5.31	電気機器	3.86
	7 ガラス・土石製品	3.60	金属製品	4.89	輸送用機器	4.92	情報・通信業	3.69
	8 卸売業	2.96	精密機器	3.84	非鉄金属	4.82	卸売業	3.07
	9 金属製品	2.71	陸運業	3.15	機械	4.81	電気・ガス業	2.09
	10 機械	2.43	化学	3.06	サービス業	4.16	小売業	1.99
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 空運業	-17.79	不動産業	-13.18	空運業	-17.79	石油・石炭製品	-10.17
	2 石油・石炭製品	-9.00	石油・石炭製品	-8.88	その他金融業	-16.77	鉱業	-10.03
	3 鉱業	-7.08	建設業	-8.09	石油・石炭製品	-8.04	海運業	-8.86
	4 海運業	-6.74	海運業	-6.09	海運業	-7.97	その他金融業	-7.61
	5 建設業	-5.00	繊維製品	-3.61	鉱業	-6.22	不動産業	-5.30
	6 その他金融業	-4.82	その他金融業	-3.26	繊維製品	-3.66	保険業	-5.29
	7 銀行業	-2.23	銀行業	-2.40	その他製品	-3.60	建設業	-4.83
	8 陸運業	-1.69	保険業	-2.24	陸運業	-2.35	鉄鋼	-3.65
	9 パルプ・紙	-1.65	パルプ・紙	-1.61	銀行業	-2.25	ガラス・土石製品	-2.18
	10 電気・ガス業	-0.59	サービス業	-1.58	電気・ガス業	-1.34	証券・商品先物取引業	-1.92

(注) 単位は(%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつこれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

#### 寄与度最上位はトヨタ自動車(7203)

個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示したのが図表6である。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、トヨタ自動車(7203)が+0.314%と最も高い寄与度を示し、月次リターンは前月比+8.72%となった。次いで高い寄与度を示したのは、本田技研工業(7267)で+0.259%、キヤノン(7751)で+0.204%であった。月次リターンは、それぞれ前月比+14.66%、+11.71%であった。これら上位銘柄は、輸送用機器や精密機器全体のパフォーマンス改善にも寄与していた。一方、最も低い寄与度を示したのは三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)で-0.140%であった。同銘柄の月次リターンは前月比-5.35%となった。次いで、日本たばこ産業(2914)で-0.064%、月次リターンは前月比-9.27%であった。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

Prime: 2.39%				Top: 3.33%			
		寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)
上位銘柄	1	7203 トヨタ自動車	0.314	8.72	7203 トヨタ自動車	0.702	8.72
	2	7267 本田技研工業	0.259	14.66	7267 本田技研工業	0.578	14.66
	3	7751 キヤノン	0.204	11.71	7751 キヤノン	0.456	11.71
	4	6752 パナソニック	0.184	15.21	6752 パナソニック	0.411	15.21
	5	5411 ジェイ エフ イー ホールディングス	0.135	17.23	5411 ジェイ エフ イー ホールディングス	0.300	17.23
下位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.140	-5.35	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.312	-5.35
	2	2914 日本たばこ産業	-0.064	-9.27	2914 日本たばこ産業	-0.142	-9.27
	3	9020 東日本旅客鉄道	-0.061	-6.54	9020 東日本旅客鉄道	-0.137	-6.54
	4	9202 全日本空輸	-0.053	-21.66	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.114	-4.87
	5	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.051	-4.87	7974 任天堂	-0.113	-3.91

Large-V: 3.37%				Large-G: 2.02%			
		寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)
上位銘柄	1	7203 トヨタ自動車	0.712	8.72	7751 キヤノン	0.456	11.71
	2	7267 本田技研工業	0.649	14.66	6502 東芝	0.265	20.00
	3	6752 パナソニック	0.413	15.21	4063 信越化学工業	0.232	13.84
	4	7201 日産自動車	0.260	17.58	6503 三菱電機	0.157	13.58
	5	5411 ジェイ エフ イー ホールディングス	0.244	17.23	6702 富士通	0.153	18.25
下位銘柄	1	6701 日本電気	-0.110	-12.40	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.260	-5.35
	2	5001 新日本石油	-0.106	-11.93	2914 日本たばこ産業	-0.142	-9.27
	3	6764 三洋電機	-0.072	-15.20	9020 東日本旅客鉄道	-0.137	-6.54
	4	7011 三菱重工業	-0.069	-5.25	9202 全日本空輸	-0.119	-21.66
	5	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.058	-5.35	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.114	-4.87

Small: 0.95%				
		寄与度(%)	リターン(%)	
上位銘柄	1	4021 日産化学工業	0.074	17.20
	2	6976 太陽誘電	0.068	21.71
	3	9694 日立ソフトウェアエンジニアリング	0.067	59.30
	4	3116 トヨタ紡織	0.057	28.52
	5	6967 新光電気工業	0.054	24.83
下位銘柄	1	5407 日新製鋼	-0.059	-16.20
	2	5007 コスモ石油	-0.058	-13.72
	3	8804 東京建物	-0.053	-13.91
	4	5233 太平洋セメント	-0.052	-13.86
	5	1662 石油資源開発	-0.045	-12.71

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

寄与度とは前月末インデックス内構成ウエイト×月次リターン(%)で算出される値。

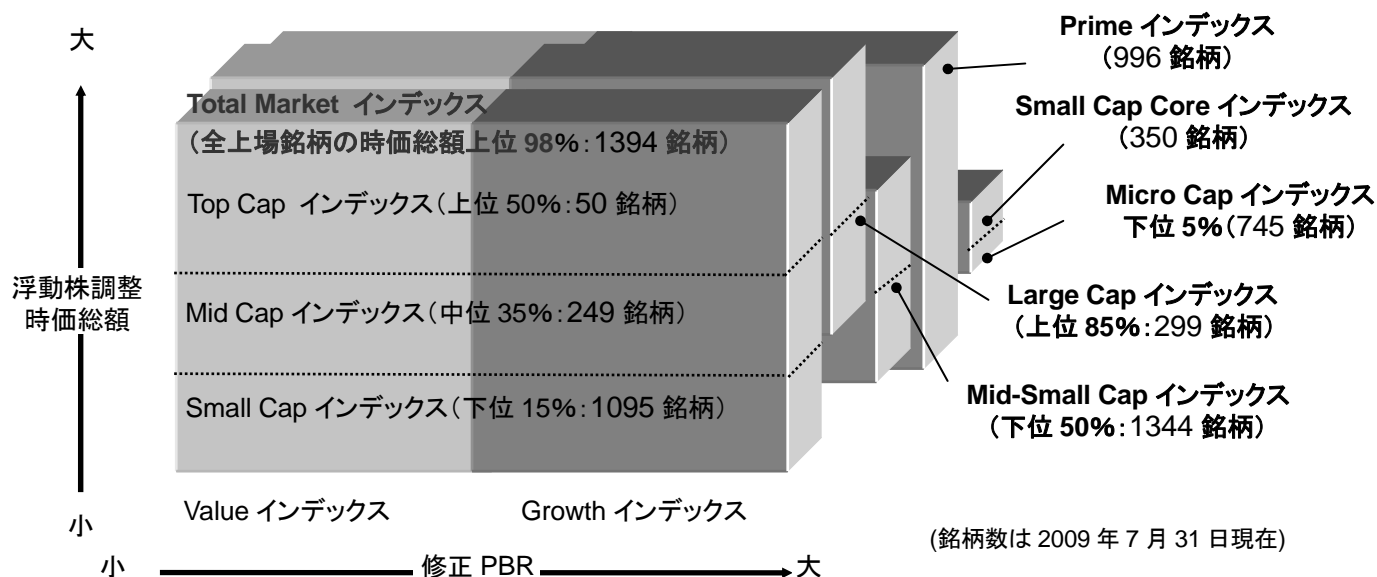
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの従業員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## Q&amp;A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されており、なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: [http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN\\_rule200904.pdf](http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200904.pdf) をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: <a href="http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html">http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html</a>

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などをご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布してあります。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子: [idx\\_mgr@frc.nomura.co.jp](mailto:idx_mgr@frc.nomura.co.jp)

電 話 : 03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 野村証券からのお知らせ

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）取引の場合は約定代金に対して最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は、2,730 円（税込み））の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）の売買取引には、約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み））の売買手数料をいただきます。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

外国株式の売買取引には、売買金額（現地約定金額に現地手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対し最大 0.9975%（税込み）（売買代金が 75 万円以下の場合は最大 7,455 円（税込み））の国内売買手数料をいただきます。外国の金融商品市場での現地手数料や税金等は国や地域により異なります。外国株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。外国株式は株価の変動および為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

信用取引には、売買手数料（約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み）））、管理費および権利処理手数料をいただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付け株券等に対する貸株料および品賃料をいただきます。委託保証金は、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。詳しくは、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、等をよくお読みください。

### 野村証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第 142 号

加入協会／日本証券業協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法のみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。